

## 第4学年国語科学習指導案

平成18年9月28日(木)5校時

第4学年 男14名 女20名 計34名

指導者 島山美香

- 1 単元名 二 材料の選び方を考えよう  
教材名 アップとルーズで伝える(光村図書・上)

### 2 単元設定の理由

#### (1) 児童について

児童は、これまでに「キーワードや指示語に着目して、段落の要点をとらえたり、接続語に気をつけて、文章の内容や段落の関係を考えて読む」「問いの文(段落)や答えの文(段落)を語尾や接続語に注意して探す」学習を説明的文章の単元学習で行ってきた。

日常の学習の様子をみると、好奇心が旺盛で、疑問に思ったことはすぐ教師に聞いたり、本で調べたりする児童が多い。グループ学習の際は活発に意見交流をしている。学級全体の場で発表を聞く姿勢は概ねできていて、友達の意見をそのまま理解することはできる。しかし、自分の考えと比較して相違点を考えることや、付け足して意見を述べることに進んで取り組む児童はまだ少数である。

1学期教材「新聞記者になろう」では、記事に合う写真を選ぶ経験をしている。また、日直児童が自ら出来事を選び、デジタルカメラで撮影して文章を書く、写真日記に継続して取り組んでいる。その点、写真素材を利用することには慣れているが、目的に応じてアップとルーズを使い分けることに着目している児童は少ない。本教材を読むことで新たな視点を与えられ、今後の活動に喜んで活用していこう。

#### (2) 教材について

第3・4学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本教材では「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」について主に扱う。

本教材は、NHK教育テレビで放送された内容をもとに、番組の出演者である作者が書き下ろしたものである。サッカーの試合を素材に、アップ(狭い範囲を映す撮り方)の映像とルーズ(広い範囲を映す撮り方)の映像それぞれの長所・短所が「しかし」「でも」の逆接の接続語を使って比較され、「このように～」以下の文でまとめられている。メディアからの情報は、一定の価値判断・意図にもとづいて取捨選択されていることに気づかせたい。

複合教材「四年三組から発信します」で写真を選び、説明をつける活動に、読み取ったことを生かしていく。今後自分たちが様々な情報を受けたり発信したりしていく際に目的に応じた伝え方ができるよう、理解を深めさせたい。

#### (3) 指導に当たって

児童自身が文章理解をするための手掛かりとして、キーワードから導き出した重要語句

をもとに段落の内容をとらえさせ、段落相互の関係を意識して読み進められるよう指導していく。

交流の際、写真資料を用意することで、話し合いのきっかけを作り、全員が自分の考えをわかりやすく伝え合い、考えを比較することができる有効な手段として活用させる。

サッカーの専門用語が多く使われており、国語辞典では調べきれない言葉もある。事前にサッカーのVTRを視聴して用語を知らせ、本文を読み取る際児童が戸惑わないようにしたい。

#### (4) 研究仮説にかかわって

仮説1に関わって、本教材文の要点や段落構成をとらえるため「目的を持って伝える」をキーワードに設定する。「アップ」と「ルーズ」に関わる説明の文と写真を対応させながら読み取り、接続語から文や段落相互の関係がつかめるよう、で囲む活動を取り入れる。補助教材として教科書写真の拡大図や、ワークシートを用意する。

仮説2に関わっては、ワークショップ型の交流を中心に進める。写真素材を利用し、3～4人の単位で話すことにより一人一人が発言できる機会を増やし、自分の考えをより広げたり深めたりできるようにしたい。

自分の意見を更に深めることができた意見に対し、自己評価・相互評価の場を設け、お互いのよさを認め合いながら授業を締めくくすることで、次時への意欲を高められるようにする。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことを伝える方法について興味を持つことができる。

知らせるために取材し、相手や目的に応じて材料を選んで伝えることができる。

〔関心・意欲・態度〕 目的や相手に応じて取材・選材・表現の方法が違うことに関心を持ち、自分の表現に生かそうとする。

〔読むこと〕 各段落の役割を考え、段落相互のつながりを考えながら、アップとルーズのそれぞれの特徴や使い分ける理由について正しく読み取ることができる。

〔言語事項〕 文章全体の中での各段落の役割を理解することができる。

#### (2) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読むこと	言語についての 知識・理解・技能
目的や相手に応じて材料の選び方や表現の方法が異なることに気づき、自分の表現に生かそうとしている。	目的に応じて、写真と文章の関係に注意したり、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめたりして読んでいる。	・各段落の役割を理解している。 ・接続語の使い方を理解している。 ・難語句を国語辞典で調べている。

4 指導計画 (17時間扱い 読むこと6時間 書くこと11時間)

読育 みて のた かい		・目的や相手に応じて取材、選択、表現の方法が違うことに気づき、自分の表現に役立てようとしている。(関・読)	・目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。(読イ)  ・目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。(読オ)	・伝えたい相手を決めて、必要な材料を収集したり、選択したりして書く方法を読み取る。(読)	
活動 の流 れ	(3年)すがたをかえる大豆 ・問いと答えの文を見つける。 (4年)「かむ」こと の力 ・段落のつながりを考えながら読み取る。	「アップとルーズで伝える」を読んで学習計画を立てる。  ・「アップ」「ルーズ」とはどういうことだろう。	「アップ」と「ルーズ」の意味、長所・短所、目的に応じた使い分けを読み取り、段落相互の関係を理解する。  ・アップとルーズの伝えられることと伝えられないこととは何だろう。 ・どうしてアップとルーズを使い分けるのだろう。 ・段落はいくつにまとめられるのだろう。	「四年三組から発信します」を読み、「アップとルーズで伝える」で学んだことを生かしてグループで発表したい材料を選んだり、調べたりする。  ・学校の中で見つけた、広く知らせたいことを壁新聞にしたい。	(5年)ニュース作りの現場から
段階	事前	つかむ (2時間)	読み取る・まとめる (4時間)	ひろげる (11時間)	事後
学習活動	ワールドカップのVTRを視聴する。	第1時 題名について考えたり全文を読んだりして、文章の概略をつかみ、初発の感想を書く。形式段落分けをする。 第2時 題名や全文から考えたことをもとに学習計画を立てる。	第3時 ~ を読み から問いの文を見つける。 第4時 ~ を読み、アップとルーズの違いを読み取る。(本時) 第5時 ~ を読み、筆者の意見を読み取る。 第6時 段落のつながりを図にまとめ、大きなまとまりごとに小見出しをつける。	第7~12時 「四年三組から発信します」を読んで、課題を決め、材料を選んだり、調べたりする。 第13時~16時 壁新聞にまとめる。 第17時 発表会をする。 教科書の例を読み、題材を決める。材料を探したり、調べたりして壁新聞を作る。 題材を決めるために、意見を出し合い、友達の意見を聞いて考えをさらに深める。 わかりやすい発表になるよう意見を出し合う。 発表を聞いて感想を交流する。各班の様子を観察し、相手や目的を考え、記事の内容、写真の使い方、割り付けなどを工夫するよう助言する。	様々な学習活動の中で、写真資料や映像資料の使い方や使われ方を意識できるようにする。
交流の場	新出漢字の確認、難語句調べをする。 話題提起・長所と短所・使い分けの3つのまとまりに分けられる事を理解する。 キーワードを話し合い、学習計画を立てる。(一斉)		既習事項をもとにキーワードを見つける。 写真と文章を照らし合わせて読み、接続語にも気をつけて要点を読み取り、段落相互の関係を考える。  意見を交流し、考えを深める。(学習班) 自己評価・相互評価を次時に生かす。		
留意点	題名やリード文に着目させ、課題意識を持ちやすくさせる。		キーワードに目を向けさせ、要点をとらえ、文のつながりが理解できるようにする。 話し合いの観点を明確にするため、ワークシートを用意する。		
具体の評価規準	第1・2時 (読)全文を読んで概略をつかみ、3つの段落に分けている。(発言、観察) (関・読)学習に対する見通しを持ち、課題意識を持って読み進めようとしている。(ノート)		第3~5時 (読)「アップ」と「ルーズ」の意味、長所・短所、目的に応じた使い分けを読み取っている。(ワークシート、発言、観察) 第6時 (読)段落相互の関係を図にまとめ、小見出しをつけている。(ノート、発言)	第7~12時 (関)課題意識を持って調べたり、発表したりしている。(発言、ノート) (読・書)説明的文章から学んだことを生かし、目的に応じてアップとルーズを使い分けている。(発表)	

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

小段落 ~ から、アップとルーズが伝えられることと伝えられないことを読み取り、段落相互の関係を考えることができる。

### (2) 研究仮説にかかわって

仮説1 キーワード「目的に合わせた伝え方」について読み取るために、逆接の接続語を手掛かりに「アップ」と「ルーズ」が伝えられることと伝えられないことを写真と対応させながら読み取り、「このように」という接続語から、段落相互の関係を考えることができるようにする。

仮説2 本時の交流の場を以下のように設定した。

目的・・・アップとルーズの伝えられることと伝えられないことの読み取りを深めるため。

相手(形態)・・・学習班(3~4人)の友達と。

内容・・・アップとルーズの伝えられることと伝えられないことを読み取った後に、サッカー中継以外では、どんな場面でアップとルーズの画面にすればよいかを考え、自分が考えた内容を学習班と全体の場で交流し、理解を深める。

方法・・・自分で撮影したアップとルーズの2枚の写真をもとにワークショップ形式で話し合う。(班での話し合い 全体発表が振り返り)

### (3) 展開

段階	学 習 内 容	指導上の留意点 支援 評価
つかむ 2分	1 前時の想起	「アップ」「ルーズ」の定義を押さえる。
	2 学習課題の把握 アップとルーズの伝えられることと伝えられないことを読み取ろう。	
読み取る 40分	3 学習の見通し 課題に気をつけて音読をしましょう。  段落はアップとルーズどちらについて書かれていますか。 ・アップです。 段落はどちらですか。 ・ルーズです。 それぞれの段落を表している写真はどれですか。 ・ がP20、 がP21。 段落をまとめている段落は、どこですか。 ・ 段落。	一斉読、段落ごと列指名読み。       掲示している写真を指しながら、確認させる。

まとめているとわかる言葉はどれですか。

- ・このように。

#### 4 読み取り

段落からアップが伝えられることと伝えられないことについて書かれている文を見つけ、線を引きましょう。

ワークシートにまとめましょう。

段落からルーズが伝えられることと伝えられないことについて書かれている文を見つけ、ワークシートにまとめましょう。(一人読み)

発表しましょう。

- ・段落 アップ

細かい部分の様子がよくわかる。

うつされていない多くのことはわからない。

- ・段落 ルーズ

広い範囲の様子がよくわかる。

顔つきや視線、それらから感じられる気持ちまでは、なかなかわからない

段落の中で、アップで伝えられる例は何と書かれていますか。

- ・ゴールを決めた選手の様子。
- ・ユニフォームが風をはらんでいる所。
- ・口を大きく開けている。
- ・全身で喜びを表しながら走る選手。

伝えられないことは何ですか。

・ゴールを決められたチームの選手の様子。

- ・応援席の様子。

段落の中で、ルーズで伝えられる例は何と書かれていますか。

- ・応援席の様子。
- ・大きくふられる大小の旗やたれまく。
- ・立ち上がっている観客。
- ・観客に向かって手をあげる選手たち。
- ・選手と応援した人たちが一体となっ

「このように」は全体のまとめではなく、段落のまとめであることを押さえる。接続語や重要語句に目をつけて段落相互の関係を考えることができる。(発言)

文中の重要語句「アップ」「しかし」を囲ませ、伝えられることと伝えられないことを見つける手掛かりとさせる。

と同じように「ルーズ」「でも」に目をつけて表に書くよう助言する。

重要語句に目をつけ、中心文を見つけることができる。(ワークシート、発表)

黒板の表にまとめる。

逆接の接続語に着目させることで、伝えられることと伝えられないことを対比させる。

読み取った中心文の具体例を押さえることで読みを深めさせる。

中心文に即した例を見つける事ができる。(発表)

<p>て勝利を喜び合う所。  伝えられないことは何ですか。  ・各選手の顔つきや視線、気持ち。  二つの方法を比べて、分かることは何ですか。  ・アップで伝えられることとルーズで伝えられることは正反対です。  アップとルーズをテレビでは何に応じて使い分けるのか、段落から見つけましょう。  ・目的に応じて、アップとルーズを切りかえる。</p> <p>アップとルーズを使って自分が伝えたい物を説明しよう。</p> <p>5 交流 学習班</p>	<p>アップとルーズそれぞれの写真で確認をする。  アップとルーズの長所と短所はそれぞれの裏返しである点を押さえる。</p> <p>「切りかえ」のイメージをつかませるため、P28の図を参照させる。  ワークシートに書かせる。</p> <p>前時で考えたテーマに基づいてあらかじめ撮影した写真に、伝えられることを箇条書きで書き入れさせる。  なかなか説明文が思いつかない児童には、教科書の例を基にアップ・ルーズどちらかだけでも書けるよう支援する。</p>
<p>アップとルーズを使って自分の考えた具体例を説明しよう。</p> <p>友達の発表に対して、感想や意見を述べよう。</p>	<p>各自で用意した写真を使って、アップ・ルーズそれぞれで伝えられることを説明させる。  写真を使い、それぞれの方法の特徴を生かして説明をすることができたか。  (観察、発表)</p>
<p>交流 全体  発表しよう。  ・ぼくは野球について考えました。  ・打者が打つ前の気持ちを伝えたいときはアップを使います。  ・応援席の様子や雰囲気伝えたいときはルーズを使います。  目的に応じて使い分けるとしたら、どちらの写真を選びますか。伝えたいことは何でしょう。  ・野球場全体の様子を伝えたいのでルーズを使います。  友達の発表について意見や感想を言いましょ。</p>	<p>2～3人の児童に発表させる。  自薦の他、学習班内でぜひ発表して欲しい友達を推薦させる。</p> <p>実物投影機・プロジェクターを用意する。</p> <p>〔相互評価〕全体発表の中で自分の考えが深まった意見について感想を言うことができる。(発表)</p>

ま	6 学習のまとめ	
と	テレビでは、目的に応じてアップとルーズを使い分けている。	
め		板書を読んでまとめる。
る	7 本時の振り返り	
3	自己評価をしましょう。	学習を振り返り、評価をすることができる。
分	次回は を読みます。	。(ワークシート)

(4) 評価

評価規準	具体の評価規準		
	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する児童への手立て
アップとルーズが伝えられることと伝えられないことについて読み取ることができる。	学習シートにアップとルーズが伝えられることと伝えられないことを書くことができ、他の例でのアップとルーズの効果的な使い方を考え、理由付けもしている。	学習シートにアップとルーズの使い分けについて理解しまとめて書いている。	学習シートへの記入の際に、記述しているかどうかを確認し、友達や教師の言葉をヒントにしながら書けるよう支援する。 自分なりの意見が出せたら認め、学習に生かせるよう支援する。

(5) 板書計画

<p>テレビでは、目的に応じてアップとルーズを使い分けている。</p>	<p>このように伝えられることと伝えられないことがあります。</p>	ルーズ写真 P21	アップ写真 P20	<p>アップとルーズで伝える 読み取る。 アップとルーズが、伝えられることと伝えられないことを</p>	
		ルーズ	アップ		方法
		<p>・大きくふられる大小の旗やたれまく ・立ち上がっている観客 ・手をあげる選手たち ・選手と応援した人たちが一体となって勝利を喜び合っている</p>	<p>・ユニホームは風をはらみ ・口を大きく開けて、全身で喜びを表しながら走る選手の様子</p>		<p>伝えられること 細かい部分の様子がよくわかる。</p>
		でも	しかし		接続語
<p>・各選手の顔つきや視線 ・それらから感じられる気持ち</p>	<p>・他のチームの様子 ・応援席の様子</p>	<p>伝えられないこと うつつさねといはわい多からない。</p>			



「アップとルーズで伝える」教材構造図

意味段落	構成	形式段落	小見出し	中心文 ( 要点 )
	話題提示		会場全体 ( ルーズ )	もうすぐ後半が始まろうとするところで、画面には会場全体がうつし出されています。
			コート中央に立つ選手 ( アップ )	画面は、コート中央に立つ選手を大きくうつし出しました。
		問い	アップとルーズでどんなちがいがあるか。	アップとルーズでは、どんな違いがあるのでしょうか。
	説明		アップの長所と短所	アップでとると、細かい部分の様子がよくわかります。
			ルーズの長所と短所	ルーズでとると、広いはんいの様子がよくわかります。
	答え		テレビでのアップとルーズの目的に応じた切りかえ	それで、テレビでは、ふつう、何台ものカメラを用意しているいろいろなうつし方をし、目的に応じてアップとルーズを切りかえながら放送をしています。
	筆者の考え		写真でのアップとルーズの目的に合った使い分け	新聞を見ると、伝えたい内容に合わせて、どちらかの写真が使われていることがわかります。
			受け手と送り手の考えに応じたアップとルーズの使い分け	テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップでとるかルーズでとるかを決めたり、とったものを選んだりしているのです。

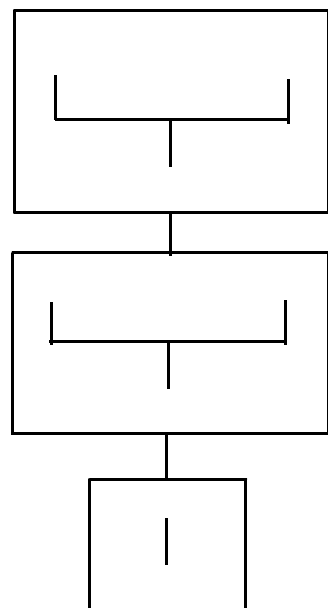
【要旨】

アップとは、ある部分を大きくうつす撮り方をいい、ルーズとは、広い範囲をうつす撮り方をいう。アップとルーズでは、どんな違いがあるのだろうか。

アップで撮ると細かい部分の様子はよく分かるが、広い範囲の様子はわからない。ルーズで撮ると広い範囲の様子はよく分かるが、細かい部分の様子がわからない。

テレビや新聞 ( の制作者・記者 ) は、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考え、目的に応じてアップとルーズを使い分けている。

【段落構成図】



アップとルーズで伝える

アップ・ルーズとはどんなとり方が、読み取るう。

段落	とり方	画面からわかること (簡単に)
アップ	・コート中央に立つ選手 ある部分を大きくうつす	・両チームの選手 ・観客席 ・スクリーン ・開始を待ち受けている感じ
ルーズ	・会場全体 ひろいはんい(をうつす)	・ホイッスルと同時にボールをける選手 ・少しきんちょうした顔つき

・(ひろいはんいをうつす) とり方を「ルーズ」といいます。

・(ある部分を大きくうつす) とり方を「アップ」といいます。

### 評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。



# アップとルーズで伝える

アップとルーズが、伝えられることと伝えられないことを読み取るう。

段落	とり方	伝えられること	接続語	伝えられないこと
	アップ	・細かい部分の様子がよくわかる。	しかし	・うつされていない多くのことはわからない。
	ルーズ	・広い範囲の様子がよくわかる。	でも	・顔つきや視線、それから感じられる気持ちまでは、なかなかわからない。

このようにアップとルーズには、それぞれ（伝えられることと伝えられないこと）がある。

それで

テレビでは、目的に応じてアップとルーズを使い分けている。

## 評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。



アップとルーズで伝える

アップとルーズの使い分けについて読み取ろう。

- （写真）でのアップとルーズの
- （目的）に合った使い分け

テレビや新聞は、受け手が（知りたいこと）、  
送り手が（伝えたいこと）におうじて  
アップとルーズを使い分けている。

ラグビーの試合を放送した映像から、アップとルーズの使い分けについて考えよう。

アップ

ルーズ

評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。



アップとルーズで伝える

く

アップ・ルーズとはどんなとり方が、読み取るう。

段落	とり方	画面からわかること (簡単に)
	うつし出されている物	
	.	

うつすとり方を「ルーズ」といいます。  
うつすとり方を「アップ」といいます。

評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。



アップとルーズで伝える

アップとルーズが、伝えられることと伝えられないことを読み取る。

段落	とり方	伝えられること	接続語	伝えられないこと
		・		・
		・		・
		・		・
		・		・

アップとルーズには、それぞれ  
(と) (と) (と) がある。

テレビでは、

評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。



アップとルーズで伝える .

アップとルーズの使い分けについて読み取ろう。

( ) でのアップとルーズの  
( ) に合った使い分け

テレビや新聞は、受け手が )  
送り手が )  
アップとルーズを使い分けている。  
( ) におうじて

ラグビーの試合を放送した映像から、アップとルーズの使い分けについて考えよう。

アップ

ルーズ

評価

- ・自分なりの考えが持てた。
- ・意見を発表できた。
- ・友達の意見で考えが深まった。

